

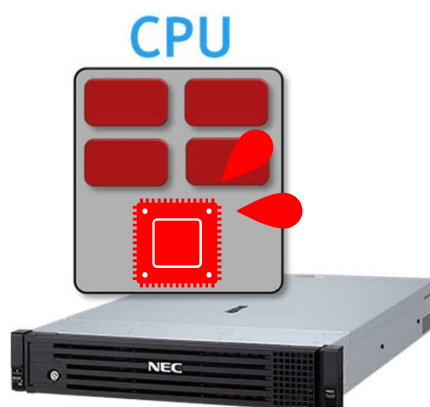
シンククライアントの課題を克服し、DXを新たなステージへ進化

GPU搭載仮想デスクトップ

シンククライアントの弱点だった「グラフィック処理」をGPUでアクセラレーションすることで、お客様のDX推進に素早く追従可能な「便利」で「安全」なクライアント環境を実現します。

従来型シンククライアントはDXに追従するためのグラフィック性能が不足

Before:
GPUなし



Web会議



動画



VR

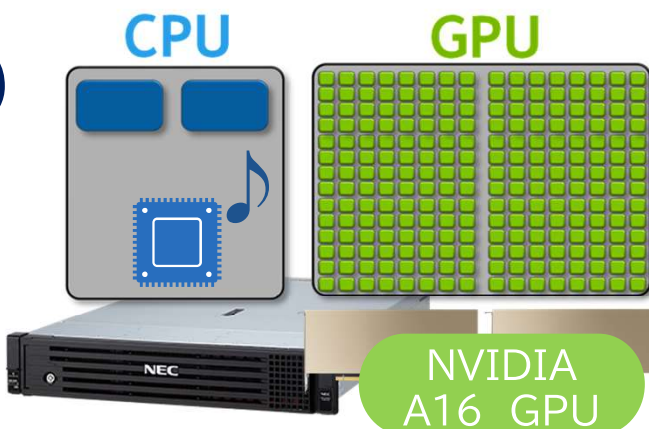


Webアプリ

DXを加速させるモダンアプリケーションは高度なグラフィック処理を必要としますが、CPUだけで処理させると高負荷となり、操作性を著しく損なってしまいます。

サーバにGPUを搭載することで、グラフィック処理(マルチスレッド)を加速

After:
GPUあり

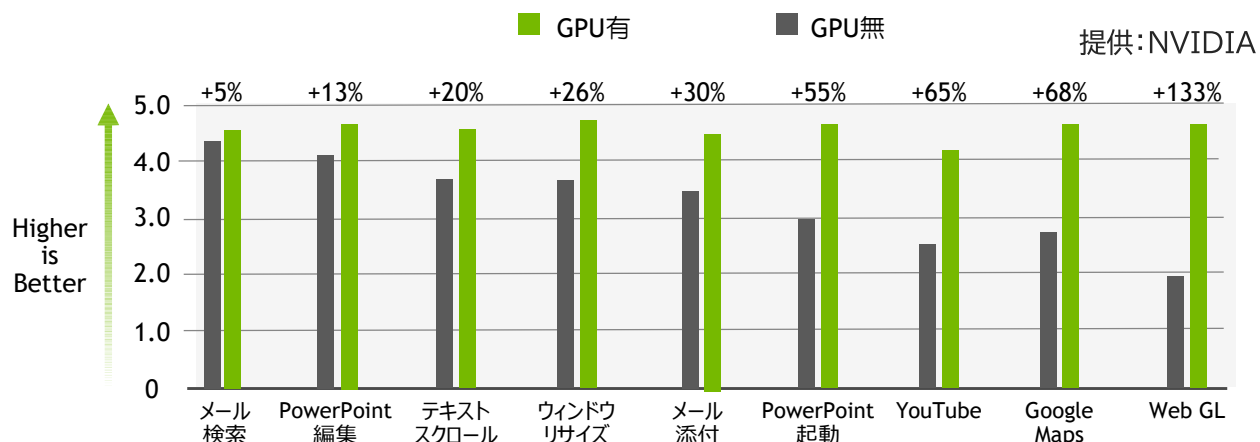


CPU負荷
約10%~60%削減
フレームレート
5~25 FPSアップ
※1秒間に送られる画像数。多い方がスムーズ

仮想化基盤のサーバにGPUを搭載し、NVIDIA仮想GPU(vGPU)として分身させて複数台の仮想PCに割り当てることで、グラフィックに関連する処理をGPUに分散します。これにより、CPU負荷が下がると共にボトルネックが解消されるため、グラフィック描画のパフォーマンスが大幅に向上します。

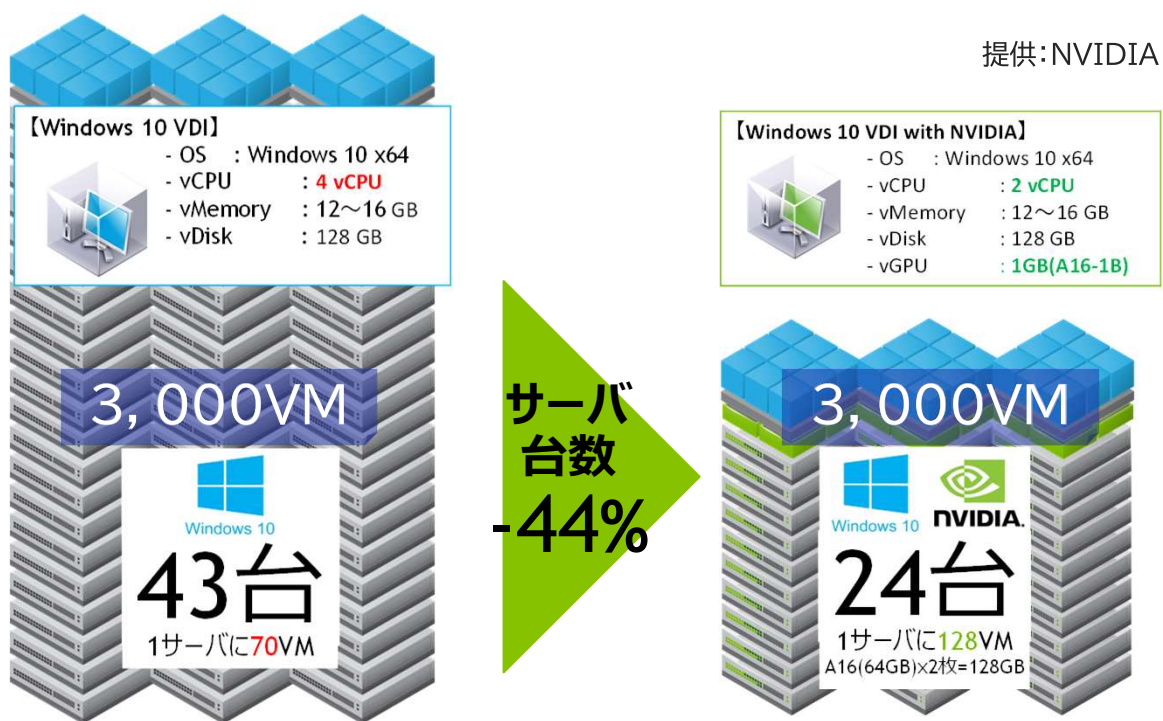
抜群の費用対効果

描画に伴う処理を軒並みスピードアップ



従来型のシンクライアントが苦手としていた、動画やWebアプリケーションの体感性能が大幅に改善するだけでなく、Officeアプリケーションや画面のスクロールなど、画面描画を伴うあらゆるアプリケーションで効果を発揮します。

サーバ台数の増加を抑えてコスト抑制



これまではCPUが高負荷になるため、仮想化基盤のサーバ台数を増やして仮想PCを分散していましたが、仮想GPUでCPU負荷を軽減することでサーバ台数の増加を抑えることができるため、導入/運用コストを抑制することが可能です。

詳細情報およびお問い合わせ

[製品紹介サイト] デスクトップ仮想化ソリューション

<https://jpn.nec.com/solution/dtvsol/index.html>